# 清流長良川の鮎 ~里川における人と鮎のつながり~



## GIAHS

#### 世界農業遺産

平成27年12月認定

### 岐阜県長良川上中流域

86万人もの流域の人々のくらしの中で清流が保たれている長良川。そんな長良川の澄んだ水の中で育っ「鮎」は、流域の食や伝統文化、歴史、経済と深く結びつき、長良川の豊かさをあらわす象徴といわれています。鮎を通じて見えてくる人の生活、水環境、漁業資源が相互に深く関わり循環する仕組みは、「里川システム」と呼べるものです。



森を育てる活動

森林の育成と水資源管理

#### 川を守る活動

優れた景観と生態系の保全





森が蓄える長良川の清流

都市部を流れる川でありながら 日本三大清流と呼ばれる

## 長良川システム

人の生活、水環境、漁業資源が 連環する里川のシステム

#### 森・川・海のつながりで育つ鮎

生物多様性と鮎資源の確保





日本有数の鮎

伝統漁法による食料の確保

#### 鮎と水の文化

流域に伝わる文化と価値観

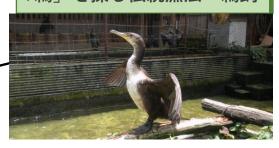


#### 長良川のシンボル「鮎」



水が澄んだ長良川では豊富に育った藻類が水をきれいにします。それを「**鮎**」が食べることで、次々に新しい藻類が育ち、水を綺麗にし続ける循環が生まれています。

#### 「鵜」を操る伝統漁法 鵜飼



鵜飼では、鵜匠が魚を丸呑みする習性のある 水鳥の「鵜」を紐で操り、船上で鮎を吐き出 させ捕えます。

## 世界農業遺産認定による効果

## 農林水産業

「里川」における持続的な農林水産業の振興

- ・「岐阜県魚苗センター」の拡充
- 人工ふ化放流事業、繁殖環境整備
- ・7月第4日曜日を「GIAHS鮎の日」に制定
- ・「清流長良川の鮎」ロゴマークの制定
- ・「清流長良川の恵みの逸品」の制定
- 海外トップセールスでのプロモーション
- □ 放流用鮎種苗生產能力:60t (H25)→72t (R6)
- □ 産卵場造成面積: 800m<sup>2</sup>(H25)→1,600m<sup>2</sup>(R6)
- □「清流長良川の恵みの逸品」認定商品数:62商品(R6)
- □ 「清流の国ぎふ」鮎を食べよう!キャンペーンの開催
- □ 県産鮎輸出量:15kg(H25)→3,540kg (R4)



GIAHS鮎の日



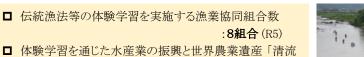
2016年7月24日 ロゴマーク表彰式 応募296点(県内212点、県外84点)

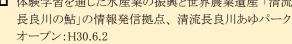
### 伝統漁法、伝統文化

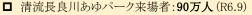
鮎を対象とした伝統漁法と、

鮎と水にまつわる伝統文化の継承

- 伝統漁法、文化を守る後継者の育成
- 「清流長良川あゆパーク」の新設









清流長良川あゆパ-



伝統漁法を親子で学ぶ講座

## 環境の維持、保全

「里川」における水環境、生物多様性の維持、保全

- ・水源の森づくり、魚のための森づくり
- •良質な水質の保全
- 生物多様性の維持、保全
- □ 「清流長良川の鮎」プレーヤーズ:95団体(R5)
- □ 漁協の「長良川源流の森育成事業」:130名参加(R6)
- □「長良川源流の森育成事業取組面積」

:4.9ha (H25) $\rightarrow$ 11.52ha (R6)

- 魚付き保安林面積:4.5ha(H25)→16.8ha(R5)
- 生物多様性シンポジウムの開催:R6.3.23
- □ フィッシュウェイサポーターによる魚道点検:250箇所(R5)
- 特定外来生物コクチバスの駆除:

電気ショッカーボート3隻(R6)

コクチバスの駆除

長良川源流の森育成事業

## 景観の保全、継承

「里川」における景観と

伝統的防災システムの保全・継承

- 農村景観の保全、継承
- ・歴史ある町並みを保全、継承
- ・伝統的防災システムの保全、継承
- □ ぎふ・リバーサポーター活動団体数:166団体(R5)
- □ 岐阜県、愛知県、三重県、静岡県内の18都市が 連携して「歴まちカード」を発行、魅力を啓発 (岐阜市川原町、美濃市美濃町、郡上市八幡町)

:カード配布数13,000枚(R5)

□ 伝統的防災施設に関する出前講座などを実施



うだつの上がる町並み (美濃市)



長良川の霞堤

## 情報発信

国内外に向けた長良川システムの発信

- ・国内認定地域との連携PR
- ・民間団体によるPR活動
- ・冊子・チラシ等によるPR
- ・「東南アジア漁業開発センター」との協力
- ・「内水面漁業研修センター」開設
- ・研修生受け入れ、研究員派遣による技術指導
- ・国際貢献活動の国内外でのPR
- □ 石川県、滋賀県との連携PR:4回 (R5)
- 副読本・まんが副読本配布数:7.435部(R5)
- □ アジア、アフリカ地域等からの研修生や政府関係者の 視察研修受け入れ:2回(R5)
- 東アジア農業遺産学会(ERAHS)の岐阜県での開催

: R6.8.8~9



東アジア農業遺産学会(ERAHS)開催



での研修